琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件　日米協ギ（委）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 日米協議委員会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43724

秘
無期限

北米局
参事官
北米課長

沖縄に関する協議委員会
第13回会合

試案用メモ（案）

43. 1. 11
北米局北米1課

（着席）

（報道関係者はあらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場）。

1.（開会及び議事日程採択）

「只今より、沖縄に関する日米協議委員会の第13回会合を開催いたします。

（通　訳）

「まず、愛知外務大臣に代わって、田中総理府総務長官が、本委員会の委員として この会合から

GA-6　外務省

参加されることとなりましたので、御紹介したいと存じます。ここで田中長官より簡単な御挨拶（また、新任の外務大臣が来たと、この機会に御紹介致します。）

挨拶の希望があると了知しております。田中長官　どうぞ。」

（通　訳）

（田中総務長官　発言）

（通　訳）

GA-6　外務省

一覧表の作成の経緯について御報告申上げます。

すなわち、今回は、~~本来なら~~対沖縄援助に関する米側の提案~~に対する日本側対案は昭和39年4月~~が

~~26日付交換公文の実施手続に基き本協議委員会を通じ提示されるべきものであります~~が本年度

~~計画については諸般の理由により この手続は踏まれ~~

~~ておりません。~~ ~~一応~~ ~~なので、米側の非公式提案は~~

これに対する日本側の対

昨年10月、日本側に提示され、~~これに基いて検討した~~

~~日本側の対案は去る12月~~ 日米~~米~~~~事務担当者~~当局間の緊密な

案が作成された後

詳細な

非公式協議~~特~~において~~詳細に~~検討、調整~~を~~

~~合意に達した~~ 昨10日、那覇で開催された技

たと

が行なわれました。その結果は

付託され、同委員会に~~おいて、さらに~~検討~~した~~結果作成された

~~もの~~であります。 ~~この間における日米事務担当者間の~~

となったわけ

~~非公式~~~~協議~~~~、再度間の終始、密接な連絡、協~~

昨年11月の佐藤総理とジョンソン大統領との会談において、沖縄問題について大きな前進

みられ

が~~なされ~~たことはよろこばしい次第であります。

特にこの協議委員会との関連において

さらに

沖縄の住民と彼等の日本本土との一体化を図

め、沖縄住民の経済的及び社会的福祉を増

一層

進する措置をとっていくべきことが、両国共通の目的として再確認されたわけであります。私は

近く

今後とも、本委員会が、那覇に~~も~~設置される

諮問委員会等とも緊密に協力しつつ、沖縄の

他訪和

が日本に返還されることになるときに備えて、この目的に向って、さらに沖縄に有意義な諸策の

両国共通の

を~~講ずるべきであ~~ 講ずるべきであります。

続けていく

秘
無期限

沖縄に関する協議委員会
第12回会合

議長用メモ

昭和42年3月1日

~~（着　席）~~

~~（報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場）~~

~~1.（開会及び議事日程採択）~~

~~「只今より、沖縄に関する協議委員会の第3回会合を開催いたします。」~~

~~（通　訳）~~

「~~これ~~ここで、ジョンソン大使から御発言の希望があると承知しております。大使どうぞ。」

（ここで、ジョンソン大使より、~~技術委員会の議長である副民政官リチャード・ドウラン大佐及び民政府計画局予算部長ボディ・ウィルボー中佐を紹介~~ 田中長官紹介の旨を述べるとともに、技術委員（半田収官）紹介 民政府計画局予算部長ボディ・ウィルボー中佐を紹介）

民政府よりの出席者確認つき

「大使ありがとうございました。私は、本委員会の議長として、また日本側を代表して~~リチャード~~沖縄から来られた~~ドウラン大佐及び~~ボディ・ウィルボー中佐の参加を~~カペンター民政官~~ バーンズ 官房 タキカワ 予算課長 討論 民政官 及び

同上

~~から~~歓迎いたします。」

（通　訳）

「それでは本日の議題についてお諮りいたします。お手許にお配りした議事日程案に御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より異議なき旨発言）

「御異議がなければ、これにて議事を進めます。」

（通　訳）

2.（議題1　技術委員会提出の昭和43会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和44会計年度に支出されるものを含む））

「それでは議題1の技術委員会提出の昭和43年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和44会計年度に支出されるものを含む）についての討議に移ります。この~~対沖縄~~ますの援助計画

技術委員会議長に代わって、バーンズ計画官から

一覧表は、1月25日開催の第11回協議委員会で提出された昭和42会計年度日本政府の対沖縄援助に関する日本側対案について、日米間の非公式協議で調整し、合意した案を2月21、22の両日那覇で開催された技術委員会において、さらに検討した結果作成されたものであります。本日は幸い技術委員会議長であるリチャードソン大佐が出席しておられますので、同氏より計画一覧表を協議委員会に御提出願いたいと存じます。」

（通　訳）

（バーンズ計画官から一覧表を三木大臣及びジョンソン大使に手交の上、簡単に説明。）

「ありがとうございました。日本側を代表して、技術委員会の御努力を多といたします。日本側は、ただ今技術委員会から提示された計画一覧表を日本政府の予想援助計画といたしたいと存じます。すなわち、日本側の具体的援助計画を最終的に確定するためには、昭和39年4月25日付交換公文第2項(c)に規定されているとおり、なお国内的措置を要するのでありますが、日本政府としては、その留保を付した上で、この計画一覧表を日本政府の沖縄に対する援助計画とすることに同意するものであります。米側においても、同様の了解をもつて、この予想援助計画に同意されるか否かおたずねしたいと存じます。」

（通　訳）

（ジョンソン大使より同意する旨発言）

「これによつて、昭和43年4月以降の日本政府の予想援助計画について合意が成立いたしました。日本政府の沖縄援助は逐年増加してきましたが、ここに合意された援助計画も前年度に比し大巾の増額になつております。この事実は、日本政府及び国民の沖縄に対する至大の関心の現われにほかならない次第であります。

なお、この関連で、ブライス法の限度額が引き上げられたことについて、日本政府の御努力を多とするものがありますが、今後、同法の限度額が更に引き上げられ、沖縄住民の福祉向上のため、日米側の援助も強化されれば、私は、来年度における日本政府の援助計画のことも希望いたします。

沖縄住民の福祉の向上と沖縄の経済開発は、日米両政府共通の関心事であると信じます。

この機会に、現に沖縄において施政権を行使している米国側においても、この共通の目的のために米国からの援助を同様に拡大

満足すべき合意に達したことについて、日本側の御努力を多とするものであります。

また、この一覧表が技術委員会に提出されるまでの日米両当局間の非公式協議は、沖縄問題に関する日米間の相互理解と信頼関係にもとづき、きわめて親密かつ、円滑に行なわれました。この非公式協議を通じて、日米政府の対沖縄援助計画について、十分の意見の疎通が図られた。

ヒ、もつて米国民政府及び琉球政府が抱懐される沖縄の経済社会開発のための長期計画の実施の促進を可能ならしめるよう、切なる希望を表明したいと思います。

米国側の援助増額は、プライス法の改正の成否にかかつていると承知しております。私は、この問題について日本政府部内のみならず、国会方面にも強い関心のあることを申し上げ、プライス法の限度額引上げの早期実現に関する日本側の強い関心を本国政府にお伝え下さるようお願いしたいと思います。」

（通　訳）

（ここでジョンソン大使より発言がある予定）

（通　訳）

「ここで~~緑原~~田中総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（~~緑原~~田中総務長官発言）

（通　訳）

「なければ、これにて議題2に関する討議を終ります。」

~~（通　訳）~~

（議題~~3~~2　新聞発表についての合意）

「最後に、議題~~3~~2の新聞発表振りについてお諮りいたします。事務当局で用意した発表文案をお手許にお配りしてありますが、これを報道関係者に配付し、それによつて説明を行なうこととしたいと考えますが、御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より同意する旨表明）

「では、新聞発表については、只今申し上げたとおりとり運ぶことに決定いたしました。」

（通　訳）

（閉　会）

「本日の委員会は、皆様の御協力をもつてきわめて円滑に議事を進めることができました。皆様の御協力を感謝いたします。第~~12~~13回協議

委員会は、これをもつて閉会いたします。ありがとうございました。」

（通　訳）

沖縄に関する日米協議委員会
（第13回）出席者

昭和43年1月11日

日本側

三木　武夫	外務大臣
田中　龍夫	総理府総務長官
東郷　文彦	外務省北米局長
山野　幸吉	総理府特別地域連絡局長
大河原良雄	外務省北米局外務参事官
綿貫　敏行	総理府特別地域連絡局総務課長
及川　謙三	総理府特別地域連絡局援助業務課長
宇土　条治	那覇日本政府南方連絡事務所次長
千葉　一夫	外務省北米局北米課長

米　側

U・アレクシス・ジョンソン	駐日大使
ルイス・M・パーネル	米国大使館参事官
ピーター・A・サイプ	米国大使館参事官
ウィリアム・C・バーンズ	琉球列島米国民政府計画局長
クラレンス・タテカワ	琉球列島米国民政府計画局計画予算課長

沖縄に関する協議委員会
第13回会合着席表

（佐藤事務官）	○	○	タテカワ計画予算課長 (Clarence Tatekawa)
大河原外務参事官	○	○	バーンズ計画局長 (William C. Burns)
東郷北米局長	○	○	パーネル参事官 (Lewis M. Purnell)
三木外務大臣	○	○	ジョンソン大使 (U. Alexis Johnson)
田中総務長官	○	○	サイプ参事官 (Peter A. Seip)
山野特連局長	○	○	（ウィッケル補佐官） (James Wickel)
及川援助業務課長	○	○	
宇土南連次長	○	○	

秘
無期限

沖縄に関する日米協議委員会
の第13回会合

議事日程（案）

昭和43年1月11日

議事日程の採択

1. 技術委員会提出の昭和43会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和44会計年度に支出されるものを含む。）

2. 新聞発表についての合意

秘
無期限

The 13th Meeting of

The Japan-United States Consultative Committee

on Okinawa

January 11, 1968

Draft Agenda

Adoption of the Agenda

1. The list of projects submitted by the Technical Committee Concerning the Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1968 (including certain amounts to be financed in the first three months of JFY 1969)

2. Agreement on statement to the press

秘
無期限

沖縄に関する協議委員会
第13回会合

議長用メモ

昭和43年1月11日

（着　席）

（報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場）

1.（開会及び議事日程採択）

「只今より、沖縄に関する日米協議委員会の第13回会合を開催いたします。」

（通　訳）

「まず、塚原前長官に代わつて田中総理府総務長官が、本委員会の委員としてこの会合から参加されることとなりましたので、御紹介したいと存じます。また、新任の大河原外務省北米局参事官をこの機会に御紹介いたします。ここで田中長官より簡単な御挨拶の希望があると承知しております。田中長官どうぞ。」

（通　訳）

（田中総務長官発言）

（通　訳）

「ここでジョンソン大使から御発言の希望があると承知しております。大使どうぞ。」

（ここで、ジョンソン大使より挨拶、米側出席者紹介）

「大使ありがとうございました。私は、本委員会の議長として、また日本側を代表して、沖縄からこられたバーンズ民政府計画局長及びサイプ参事官及びタテカワ計画予算課長の参加を歓迎いたします。」

（通　訳）

「それでは本日の議題についてお諮りいたします。お手許にお配りした議事日程案に御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より異議なき旨発言）

「御異議がなければ、これにて議事を進めます。」

（通　訳）

2. （議題1　技術委員会提出の昭和43会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和44会計年度に支出されるものを含む））

「それでは議題1の技術委員会提出の昭和43年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和44会計年度に支出されるものを含む）についての討議に移ります。まず、この援助計画一覧表の作成の経緯について御報告申上げます。

すなわち、今回は、対沖縄援助に関する米側の提案が昨年10月日本側に提示され、これに対する日本側の対案が作成された後、日米事務当局間の緊密な非公式協議において詳細な検討、調整が行なわれました。その結果は、昨10日那覇で開催された技術委員会に付託され、同委員会で検討された上、本日提出される一覧表となつたわけであります。それでは、技術委員会議長に代わつてバーンズ計画局長から計画一覧表を協議委員会に御提出願いたいと存じます。」

（通　訳）

（バーンズ計画局長から一覧表を三木大臣及びジョンソン大使に手交の上簡単に説明。）

「ありがとうございました。日本側を代表して、技術委員会の御努力を多といたします。また、この一覧表が技術委員会に付託されるまでの日米事務当局間の非公式協議は、沖縄問題に関する日米間の相互理解と信頼関係に基づき、きわめて緊密、かつ、円滑に行なわれました。この非公式協議を通じて、日本政府の対沖縄援助計画について十分の意思の疎通がはかられ、満足すべき合意に達しえたことについても、関係者の御努力を多とするものであります。

日本側は、只今技術委員会から提示された計画一覧表を日本政府の予想援助計画といたしたいと存じます。すなわち、日本側の具体的援助計画を最終的に確定するためには、昭和39年4月25日付交換公文第2項(c)に規定されているとおり、なお国内的措置を要するのでありますが、日本政府としては、その留保を付した上で、この計画一覧表を日本政府の沖縄に対する

援助計画とすることに同意するものであります。米側においても、同様の了解をもつて、この予想援助計画に同意されるか否かおたずねしたいと存じます。」

（通　訳）

（ジョンソン大使より同意する旨発言）

「これによつて、昭和43年4月以降の日本政府の予想援助計画について合意が成立いたしました。日本政府の沖縄援助は逐年増加してきましたが、ここに合意された援助計画も前年度に比し大巾の増額になつているのみでなく、質的にも一層充実したものとなりました。この事実は、日本政府及び国民の沖縄に対する至大の関心の現われにほかならない次第であります。

なお、この関連で、プライス法の限度額が昨年引上げられたことについて米国政府の御努力を多とするものでありますが、今後同法の限度額がさらに引上げられ、沖縄住民の福祉向上のため、米国側の援助も一層強化されることを希望いたします。

昨年11月の佐藤総理とジョンソン大統領との会談において、沖縄問題について大きな前進がみられたことはよろこばしい次第であります。

特に、この協議委員会との関連においては、沖縄の住民とその制度の日本本土との一体化をさらに進め、沖縄住民の経済的及び社会的福祉を一層増進する措置をとつていくべきことが、両国共通の目的として再確認されたわけであります。私は、今後とも、本委員会が、近く那覇に設置される諮問委員会等とも緊密に協力しつつ、沖縄の施政権が日本に回復されることとなるときに備えて、この両国共通の目的に向つて、さらに活潑に有意義な活動を続けて行くことを希望するものであります。」

（通　訳）

（ここでジョンソン大使より発言がある予定）

（通　訳）

「ここで田中総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（田中総務長官発言）

（通　訳）

3.（議題2　新聞発表についての合意）

「最後に、議題2の新聞発表振りについてお諮りいたします。事務当局で用意した発表文案をお手許にお配りしてありますが、これを報道関係者に配付し、それによつて説明を行なうこととしたいと考えますが、御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より同意する旨表明）

「では、新聞発表については、只今申上げたとおり運ぶことに決定いたしました。」

（通　訳）

4.（閉　会）

「本日の委員会は、皆様の御協力をもつてきわめて円滑に議事を進めることができました。皆様の御協力を感謝いたします。第13回協議

委員会は、これをもつて閉会いたします。ありがとうございました。」

（通　訳）

沖縄に関する日米協議委員会第十三回会合の開催について（案）

昭和四十三年一月十一日

一、沖縄に関する日米協議委員会の第十三回会合は、昭和四十三年一月十一日（木）午後三時から外務省で開催された。委員会には、日本側から三木外務大臣および田中総理府総務長官が出席し、米側からジョンソン大使が出席した。

二、本日の会合では、本年四月一日以降に支出される日本政府の対沖縄援助計画に関する合意が成立した。この計画に含まれる日本政府の対沖縄援助は、この内容が日本政府予算に計上され、当該予算が成立した時点において正式に確定することになる。今回合意された援助計画案の総額は一五三億七七一七万六千円であり、これは琉球政府の一九六九会計年度（昭和四十三年七月～四十四年六月）中に支出されることとなるが、日琉間の会計年度の相違を考慮して一一二億八二六六万九千円は日本政府の昭和四十三会計年度予算に計上され、残額四〇億九四五〇万七千円は昭和四十四会計年度中に支出されることになつている。なお、この計画に関する米側提案は昨年十月日本側に提示され、これに対する日本側対案が作成されたのち、日米両国政府間の緊密な非公式協議において、詳細な検討調整が行なわれた。その結果が昨十日那覇で開催された日米琉技術委員会に付託されたのち、本日同委員会より本協議委員会に提出されたものである。

今回合意された援助計画の詳細は別紙のとおりである。

昭和４３会計年度（一部昭和４４会計年度に支出されるものを含む。）における日本政府の対沖縄援助計画一覧表

（単位千円）

	総額	昭和43年度計画	昭和44年度計画
Ⅰ総額	15,377,176	11,282,669	4,094,507
Ⅱ内容			
1.通常援助計画	12,577,176	9,282,669	3,294,507
(1)国土保全及び開発関係	1,323,474	854,433	469,041
土地改良	111,096	77,767	33,329
農業施設	70,000	49,000	21,000
道路整備	131,037	91,726	39,311
港湾漁港整備	378,233	264,763	113,470
森林開発	66,758	46,731	20,027
治山治水	123,862	86,704	37,158
護岸施設	52,488	36,742	15,746
天然ガス	30,000	21,000	9,000
空港整備	360,000	180,000	180,000

(2)社会福祉及び医療関係	2,726,001	2,016,884	709,117
医師歯科医師派遣	110,212	110,212	0
精神衛生事業	200,254	150,191	50,063
結核検診	10,152	10,152	0
結核患者本土収容	411,170	333,640	77,530
原爆被爆者対策	7,388	5,576	1,812
ハンセン氏病対策	7,954	7,954	0
那覇病院整備	212,424	106,212	106,212
中央保健所建設	30,000	21,000	9,000
身体障害者福祉対策	3,017	3,017	0
生活保護事業	728,259	549,361	178,898
児童福祉対策	167,070	124,575	42,495
老人福祉施設整備	74,006	48,510	25,496
福祉年金	514,370	371,676	142,694
清掃施設整備	112,000	78,400	33,600

公営住宅建設	137,725	96,408	41,317
(3)文教関係	4,918,841	3,797,264	1,121,577
教職員給与	3,353,446	2,701,147	652,299
教科書無償給与	190,144	35,362	154,782
学校施設整備	817,034	571,924	245,110
学校備品購入	134,319	134,319	0
農業教育施設整備	38,814	27,170	11,644
琉球大学整備	116,910	74,855	42,055
国費沖縄学生招致	130,155	130,155	0
育英奨学事業	70,000	70,000	0
青年の家附属体育館	18,000	12,600	5,400
私立学校助成	8,000	8,000	0
幼稚園施設整備	10,429	6,460	3,969
学用品贈与	31,590	25,272	6,318
(4)産業開発関係	524,435	503,885	20,550
模範農場	15,696	15,696	0

家畜改良増殖	81,739	61,189	20,550
沖縄経済開発研究所	27,000	27,000	0
臨時糖業振興助成	400,000	400,000	0
(5)技術援助関係	156,843	156,843	0
技術援助	156,843	156,843	0
(一般技術援助)	96,202	96,202	0
(教育指導)	35,953	35,953	0
(教育文化研修)	24,688	24,688	0
(6)財政投資関係	800,000	460,000	340,000
農漁業融通資金	170,000	120,000	50,000
中小企業融通資金	90,000	70,000	20,000
産業開発資金	540,000	270,000	270,000
(7)その他	2,044,082	1,409,860	634,222
移住振興	1,419	1,419	0
気象業務	159,029	124,948	34,081
灯台新設及び改修	33,804	23,663	10,141

ＵＨＦ回線施設工事	549,830	549,830	0
裁判所庁舎建設	100,000	70,000	30,000
海員学校建設	40,000	28,000	12,000
那覇市民センター建設	90,000	63,000	27,000
警察学校改築	70,000	49,000	21,000
市町村財政充実	1,000,000	500,000	500,000
(8)南方同胞援護会関係	83,500	83,500	0
南方同胞援護会補助金	83,500	83,500	0
遺児育英事業	270	270	0
図書贈与	15,192	15,192	0
母子福祉事業助成	3,600	3,600	0
社会福祉事業振興資金助成	5,400	5,400	0
病院等施設整備	15,885	15,885	0
沖縄精和病院増築	16,153	16,153	0

らい患者更生資金助成	5,000	5,000	0
宮城原厚生センター建設	20,000	20,000	0
体育大会全国大会参加	2,000	2,000	0
2.産業開発資金等融資特別援助	2,800,000	2,000,000	800,000
農林漁業中央金庫	270,000	190,000	80,000
漁船建造特別会計	100,000	100,000	0
大衆金融公庫	90,000	90,000	0
産業開発公庫	1,260,000	1,260,000	0
住宅特別会計	1,080,000	360,000	720,000

(Draft)

Press Release on the 13th Meeting of
the Consultative Committee on Okinawa

January 11, 1968

1. The 13th Meeting of the Consultative Committee on Okinawa was held on Thursday, January 11, 1968, at 3 p.m. at the Ministry of Foreign Affairs, Tokyo. Foreign Minister Takeo Miki and Director General of the Prime Minister's Office Tatsuo Tanaka represented Japan and Ambassador U. Alexis Johnson represented the U.S. at the Committee meeting.

2. The representatives at today's meeting agreed upon Japanese Government's aid program for Okinawa to take effect April 1, 1968. The Japanese Government's aid to Okinawa which is contained in the program will be formally established when the contents of the program are incorporated into the budget plans of the Japanese Government and upon approval of the budget plan by the Diet.

The total amount of the agreed aid program is ¥15,377,176,000 ($42.7 million). The sum is expected to be disbursed during RFY 1969 (July 1, 1968 - June 30, 1969). However, in view of the difference in the periods covered by the GOJ and GRI fiscal years, ¥11,282,669,000 ($31.3 million) of the total amount of Japanese aid is to be covered by the JFY 1968 budget of the Japanese Government

and

and the remaining ¥4,094,507,000 ($11.4 million) is to be expended during JFY 1969.

The U.S. proposal for this program was provided to the Japanese side in October 1967. After the Japanese counter-proposal was compiled, the program was examined and adjusted in detail during close informal consultations between the two governments. The result of these consultations were forwarded to the Technical Committee which was convened on January 10 in Naha. The report of the Technical Committee was presented today to the Consultative Committee.

The details of the aid program are as set forth in Attached Documents.

The List of Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1968 (The program includes certain amounts to be appropriated in JFY 1969)

Unit: Thousand Yen

	Total	JFY 1968	JFY 1969
I. Grand Total	¥15,377,176	¥11,282,669	¥4,094,507
II. Projects			
1. General Assistance Program	12,577,176	9,282,669	3,294,507
(Economic Development)	1,323,474	854,433	469,041
Agricultural Land Development	111,096	77,767	33,329
Agricultural Facilities	70,000	49,000	21,000
Roads and Bridges	131,037	91,726	39,311
Fishing Port Facilities	378,233	264,763	113,470
Forestry Development	66,758	46,731	20,027
Mountain Conservation and Flood Control	123,862	86,704	37,158
Retaining Walls	52,488	36,742	15,746
Natural Gas Development	30,000	21,000	9,000
Airfield Improvement	360,000	180,000	180,000
(Social Welfare and Medical)	2,726,001	2,016,884	709,117
Doctors and Dentists from Japan	110,212	110,212	0
Mental Hygiene Program	200,254	150,191	50,063

Tuberculosis Examination Program	10,152	10,152	0
Hospitalization of TB and Other Patients	411,170	333,640	77,530
Treatment of Atomic Bomb Patients	7,388	5,576	1,812
Treatment of Hansen's Disease	7,954	7,954	0
Improvement of Naha Hospital Facilities	212,424	106,212	106,212
Central Health Center	30,000	21,000	9,000
Welfare Activities for Physically Handicapped	3,017	3,017	0
Daily Life Security Program	728,259	549,361	178,898
Child Welfare Activities	167,070	124,575	42,495
Old Age Welfare Facilities	74,006	48,510	25,496
Non-contributory Old Age Welfare Pension	514,370	371,676	142,694
Trash Disposal Facility	112,000	78,400	33,600
Municipal Housing	137,725	96,408	41,317
(Education)	4,918,841	3,797,264	1,121,577
School Teachers' Salary	3,353,446	2,701,147	652,299
Free Textbook Program	190,144	35,362	154,782
School Facilities	817,034	571,924	245,110
School Equipment	134,319	134,319	0
Agriculture Education Facilities	38,814	27,170	11,644

Facilities for University of Ryukyus	116,910	74,855	42,055
Japanese Government Scholarship Program	130,155	130,155	0
Scholarship Loan Program	70,000	70,000	0
Gymnasium Facility for Youth Home	18,000	12,600	5,400
Private School Assistance Fund	8,000	8,000	0
Kindergarten Facilities	10,429	6,460	3,969
School Supplies	31,590	25,272	6,318
(Industrial Development)	524,435	503,885	20,550
Model Farm	15,696	15,696	0
Livestock Improvement	81,739	61,189	20,550
Okinawa Economic Development Research	27,000	27,000	0
Assistance for Sugar Industry Development	400,000	400,000	0
(Technical Assistance)	156,843	156,843	0
(1) General Technical Assistance	96,202	96,202	0
(2) Educational Guidance	35,953	35,953	0
(3) Cultural Training	24,688	24,688	0

(Treasury Investment)	800,000	460,000	340,000
Funds for Agriculture, Forestry and Fisheries	170,000	120,000	50,000
Funds for Small and Mediumsized Industries	90,000	70,000	20,000
Funds for Industrial Development	540,000	270,000	270,000
(Miscellaneous)	2,044,082	1,409,860	634,222
Promotion of Emigration	1,419	1,419	0
Weather Station Facilities	159,029	124,948	34,081
Navigational Aid	33,804	23,663	10,141
Telephone Circuit	549,830	549,830	0
Judicial Building	100,000	70,000	30,000
Seaman's Training School	40,000	28,000	12,000
Naha Auditorium	90,000	63,000	27,000
Construction of Police School	70,000	49,000	21,000
Improvement of Financial Ability of Shi-Cho-Son	1,000,000	500,000	500,000
(Nampo Doho Engo-kai)	83,500	83,500	0
Assistance to War Bereaved Family Students	270	270	0
Books for Community Centers	15,192	15,192	0
Child Welfare Activities	3,600	3,600	0

Welfare Loan Fund	5,400	5,400	0
Welfare Hospital Facilities	15,885	15,885	0
Okinawa Seiwa (Mental) Hospital Facilities	16,153	16,153	0
Rehabilitation Fund for Hansen's Disease Patients	5,000	5,000	0
Miyaginohara Recreation Center	20,000	20,000	0
Sports Teams to Japan	2,000	2,000	0
2. Treasury Loan for Industrial Development	2,800,000	2,000,000	800,000
Central Bank for Agriculture, Forestry and Fisheries	270,000	190,000	80,000
Special Account for constructing fishing vessel	100,000	100,000	0
People's Finance Corporation	90,000	90,000	0
Industrial Development Loan Corporation	1,260,000	1,260,000	0
Special Account for housing	1,080,000	360,000	720,000

LIMITED OFFICIAL USE

THIRTEENTH MEETING OF THE U.S.-JAPAN CONSULTATIVE COMMITTEE
January 11, 1968
3:00 p.m.

The Thirteenth Meeting of the U.S.-Japan Consultative Committee will be convened by Foreign Minister Miki at 3:00 p.m., Thursday, January 11, 1968 in the Minister's Reception Room located on the 4th floor of the Foreign Office. The purpose of the meeting is to sanction the acceptance by the U.S. Government of the GOJ's aid program to the Ryukyu Islands for the next fiscal year.

There are no unresolved issues. The meeting should last less than one hour and follow the prearranged script. The substance of the expected statements by Foreign Minister MIKI and Director-General Tanaka are contained in the Scenario (TAB D). The texts of the statements to be made by the Ambassador and Mr. Burns (USCAR) are contained under TABS E and F respectively.

Attachments:

TAB A - List of Participants

TAB B - Seating Arrangement

TAB C - Agenda

TAB D - Scenario

TAB E - Ambassador's Statements

TAB F - USCAR Statement

TAB G - Proposed Press Release

Distribution: The Ambassador
Mr. Purnell
Mr. Seip
Mr. Burns (USCAR)
Mr. Tatekawa (USCAR)
Mr. Wickel
C & R

Thirteenth Meeting of the U.S.-Japan Consultative Committee
January 11, 1968

List of Participants*

GOJ

Hon. Takeo MIKI	Minister for Foreign Affairs
Hon. Tatsuo TANAKA	Director General, Prime Minister's Office (PMO). Ranks as a Minister of Government.
Hon. Fumihiko TOGO	Director, North American Affairs Bureau, Foreign Office (FO)
Hon. Kokichi YAMANO	Director, Special Areas Liaison Bureau, PMO
Mr. Yoshio OKAWARA	Deputy Director, No. American Affairs Bureau, FO
Mr. Toshiyuki WATANUKI	Chief, General Affairs Section, SALB, PMO
Mr. Kenzo OIKAWA	Chief, Assistance Section, SALB, PMO
Mr. Kazuo CHIBA	Chief, No. American Affairs Section, No. American Affairs Bureau, FO
Mr. Joii UDO	Deputy Chief, Japanese Government Liaison Office (Naha)
Mr. Yukio SATO	No. American Affairs Section (FO) Interpreter

U.S.

Hon. U. Alexis Johnson	Ambassador of the United States of America
Mr. Lewis M. Purnell	Counselor
Mr. Peter A. Seip	Counselor
Mr. William C. Burns	Comptroller (USCAR)
Mr. Clarence Tatekawa	USCAR
Mr. James Wickel	Special Assistant to the Ambassador (Interpreter)
Mr. Robert E. Fritts	Second Secretary
Mr. Rodney E. Armstrong	Second Secretary

*Not all participants will be seated at the table. (See TAB B)

Thirteenth Meeting of the U.S.-Japan Consultative Committee
January 11, 1968

Seating Arrangement

Mr. Sato	0		
		0	Mr. Tatekawa
Mr. Okawara	0		
		0	Mr. Burns
Mr. Togo	0		
		0	Mr. Purnell
FonMin Miki	0		
		0	Amb. Johnson
DirGen Tanaka	0		
		0	Mr. Seip
Mr. Yamano	0		
		0	Mr. Wickel
Mr. Oikawa	0		
Mr. Udo	0	0	
DOOR			

LIMITED OFFICIAL USE

Thirteenth Meeting of the US-Japan Consultative Committee
January 11, 1968

AGENDA

Adoption of Agenda

1. The List of Projects Submitted by the Technical Committee Concerning the Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1968 (including certain amounts to be financed during the first three months of JFY 1969).

2. Agreement on the Statement to the Press.

LIMITED OFFICIAL USE

Thirteenth Consultative Committee Meeting
January 11, 1968

SCENARIO

Opening Courtesies

(The Japanese press will photograph the participants after they have taken their places at the conference table but will depart before the meeting begins).

Foreign Minister MIKI will convene the meeting and introduce Minister Tanaka. (Interpretation)

Minister Tanaka will comment briefly on his new responsibilities and state his willingness to do his best to implement the policies resulting from the Sato-Johnson meetings. (Interpretation)

Ambassador Johnson (Statement No. 1) will respond, introduce Mr. Seip and note that Mr. Burns is present once again at the deliberations of the Committee. (Interpretation)

Foreign Minister MIKI will welcome the participants and move to the first item of the agenda i.e. "Adoption of the Agenda".

Adoption of the Agenda

Foreign Minister MIKI will propose adoption of the draft agenda. (Interpretation)

The Ambassador (Statement No. 2) will agree with the proposal. (Interpretation)

Foreign Minister Miki will move on to Item I of the Agenda.

1. The List of Projects Submitted by the Technical Committee Concerning the Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1968

(Program Includes Certain Amounts to be Programmed in the First Three Months of JFY 1969)

Foreign Minister MIKI will briefly trace the course of the close consultations between the United States and Japan concerning the provision of Japanese Aid to the Ryukyus during the next fiscal year and will note that close coordination has enabled our Governments to reach agreement on the substance of the Japanese aid program. He will state that a meeting of the Technical Committee was convened formally in Naha on January 10 to review the proposed projects. He will congratulate all participants who assisted in the preparation and approval of the aid program. He will call upon Mr. Burns to distribute the TechCom documents on behalf of the Technical Committee and make any additional remarks. (Interpretation)

Mr. Burns (Statement No. 3) will distribute the copies of the List of Projects as well as the explanatory material to the Foreign Minister and the Ambassador. He will then summarize briefly the contents of the documents. (Interpretation)

Foreign Minister MIKI will propose that the documents be accepted as the Japanese aid program to the Ryukyus during the next fiscal year with the usual stipulation regarding the applicability of the GOJ Note of April 25, 1964 related to approval by the Diet (Interpretation).

The Ambassador (Statement No. 4) will say that the U.S. side agrees to the aid program as it is contained in the three documents (Interpretation).

Foreign Minister MIKI will speak briefly on developments since the Twelfth ConCom (March 1967) including the importance of the meeting between Prime Minister Sato and President Johnson. He will stress the importance of further efforts by the United States and Japan to increase the identity of the Ryukyus with Japan and will express the hope that the coordination between the Advisory Committee and the ConCom related to the Ryukyus will be close and constructive. He will note that the approved GOJ aid program is an improvement in qualitative as well as quantitative terms. He will express his appreciation for U.S. action in raising the Price Act ceiling. (Interpretation)

The Ambassador (Statement No. 5) will note that the U.S. Government welcomes the major contribution to the economic development of the Ryukyus represented by the approved GOJ economic assistance program. He will add that the GOJ and the U.S. aid programs, the impending establishment of the Advisory Committee, and Congressional authorization for raising the Price Act Ceiling show the determination of our two Governments to pursue close and effective consultation on matters pertaining to the Ryukyus. These actions demonstrate in clear terms the best efforts of the United States and Japan in seeking to protect the interests and welfare of the Ryukuan people and to further their identification with Japan through economic and institutional development. (Interpretation)

Minister Tanaka will make a brief statement on the content of the Japanese aid program, express appreciation for U.S. economic development efforts in the Ryukyus and hope that all future problems can be resolved.

Foreign Minister MIKI will move on to Agenda Item 2, "Agreement on Statement to the Press".

Agreement on Statement to Press

(Capsule Summary of GOJ Aid Program--Previously agreed at staff level)

Foreign Minister MIKI will ask if the press statement is agreeable to the U.S. (Interpretation)

The Ambassador (Statement No. 6) will indicate his agreement. (Interpretation)

Foreign Minister MIKI will announce the conclusion of the meeting. (Interpretation)

Ambassador's Statements

Statement No. 1

---Minister MIKI, Minister Tanaka, Gentlemen:

It is a distinct pleasure for me to represent the United States at this, the Thirteenth Meeting of the United States-Japan Consultative Committee. I look upon these sessions as a formal but nevertheless important means of sanctioning the progress which our two Governments have made in resolving matters concerning the development of the Ryukyu Islands and the welfare of its inhabitants. The American side is pleased to welcome you, Minister Tanaka, to this session of the Committee. We hope you make a trip to Okinawa and promise you our full cooperation. We look forward to an enjoyable and rewarding relationship with you and your colleagues. I would like at this time to introduce my Counselor for Economic Affairs, Mr. Peter A. Seip, who arrived recently on my staff and is attending his first Consultative Committee meeting. Mr. Seip has served previously in the Ryukyu Islands in an official capacity and is therefore familiar with the problems. I am also pleased to have Mr. William C. Burns, Comptroller of the United States Civil Administration of the Ryukyu Islands, and his staff present with us again to assist in our deliberations.

Thank you

Statement No. 2

---I agree.

Statement No. 3 - Mr. Burns (TAB F)

Statement No. 4 I share your view and express my gratitude for the able assistance received on this program from the Japanese side.

---I am pleased to agree with the aid proposal of the Government of Japan for the ensuing fiscal year as contained in these documents and confirm the acceptance by my Government of your expressed reservation.

Statement No. 5

---Minister Miki, Minister Tanaka:

On behalf of the United States Government, I wish to welcome the aid program which the Government of Japan has presented today. It is as you know a striking increase over the program for the current fiscal year and represents a major contribution to the economic development of the Ryukyu Islands. When added to the considerable assistance which is being furnished by the United States to the Ryukyu Islands, it serves as a tangible expression of our joint commitments to further the economic welfare and improve the living standards of the Ryukuan people. The United States recognizes the importance of Okinawa which serves our mutual security interests and those of other Free Nations, and we also recognize our responsibility for the present and future welfare of the people of the Ryukyu Islands. The material aid extended to the Ryukyu Islands under this and previous programs by the Government of Japan and the continuing large and increasing assistance efforts of the United

States have played a major role in enabling the Ryukuan people to fulfill their own capabilities. I also wish to congratulate the members of the Technical Committee on the completion of their task this year in such a satisfactory and timely manner.

The importance which my Government places on the welfare and development of the Ryukyu Islands has been demonstrated anew by the action of the Congress in raising the Price Act authorization ceiling. It is my hope that the implementing appropriation will also be forthcoming.

The Members of this Committee may take satisfaction from present developments, but we must continue to anticipate the future. It is for that reason that I consider as very important the impending establishment of the Advisory Committee as agreed upon between Prime Minister Sato and President Johnson. It is time that our Governments look to the future requirements of the Ryukyu Islands and their inhabitants in an orderly and coordinated fashion so as to identify those sectors where planning now can eliminate future problems. Our respective aid programs have emphasized economic development. The Advisory Committee will expand our perspectives to include the important concepts of joint planning and institutional development.

I feel certain that our joint efforts to safeguard the interests and welfare of the Ryukuan people will continue. In addition, we can pursue their identification with Japan by the exercise of good will and good planning. I look forward to participating as a member of the Consultative Committee in those tasks.

Statement No. 6

---I concur with the press statement as prepared.

Thirteenth Meeting of the U.S.-Japan Consultative Committee
January 11, 1968

USCAR Statement
Mr. William C. Burns

Mr. Minister, Mr. Director General:

In accordance with the agreed procedures of April 1964, Vol. B., handed to you, contains three elements of information in support of the aid program:

a. A description of the current status of the Ryukyu economy as of end FY 67.

b. A summary of the latest revision of the joint GRI/USCAR long-range plan for the economic and social development of the Ryukyu Islands, and

c. A comparison of the GOJ aid program for GRI FY 69 with the U.S. basic aid program of $12 million for GRI FY 68.

$12 million is all that has been appropriated thus far for FY 68 because of the late enactment last year by the Congress of the legislation which raised the annual authorization (Price Act) for the U.S. aid from $12 million to $17.5 million. It is anticipated that the supplemental appropriation request for the additional $5.5 million will be forwarded to the Congress this month. It is also anticipated that the full $17.5 million appropriation will be requested by the President in his FY 69 budget which also will be forwarded to the Congress this month.

The remainder of this presentation will be in Japanese to save time.

Supplementing the U.S. appropriated funds are substantial contributions to the Ryukuan economy by the activities of the general fund of the U.S. Civil Administration. The principle sources of revenue for these activities are the income from the importation and sale of petroleum, oil and lubricants products throughout the Ryukyus, and the revenues of the three corporations: The Ryukyu Electric Power Corp. (REPC), the Ryukyu Domestic Water Corp. (RDWC), and the Ryukyu Domestic Loan Corp. (RDLC). The table attached (Encl. 1) indicates the estimated resource applications programs of these activities in FY 68 and FY 69.

You will note that the annual totals are more than the $17.5 million authorized appropriated aid programs. It is pertinent that these funds were applied to the highest priority needs of the joint long-range plan before development of the U.S. and GOJ external aid programs. Please observe "Footnote A" which shows that the REPC's obligations for FY 69 exclude an estimated $25 million contract in that year for a new 160 megawatt steam power plant required to meet future demands of both the growing economy and the military base.

It is important that the Consultative Committee is apprised of the effect on the Ryukuan economy of the total spending by the military base. Attached (Encl. 2) is a copy of the High Commissioner's press release of December 19, 1967 showing that the total U.S. financial input to the Ryukuan economy in FY 67 was $257 million which is equal in amounts to about 50 percent of the gross national product (GNP) in FY 67, which latter amounted to $521.7 million.

Analysis of the growth rate of the GNP in Vol. B. shows that the average annual growth rate for the past seven years amounts to a remarkable 14.6 percent. The projections through FY 73 anticipate an annual rate of 10.6 percent with the GNP reaching $953.6 million in FY 1973.

Section II of Vol. B. sets forth the highlights of the March 1967 revision to the joint GRI/USCAR long-range plan. That revision was the basis for the development of both the U.S. and GOJ aid programs for GRI FY 69, and will be the basis for the development of the GRI's FY 69 budget over the next three months.

In June 1967 USCAR entered into a contract for a comprehensive economic survey of the Ryukyu Islands. Two highly qualified research firms were involved - one U.S. and the other Japanese. The Japanese firm was recommended by Japanese Government officials in consultation with U.S. Embassy and USCAR officials. The results of the economic survey are scheduled to be published by the end of this month and will be utilized in the next annual review of the long-range plan. The economic survey and the long-range plan will be valuable bench mark documents for use by the new Advisory Committee to the High Commissioner when the Committee becomes operational.

With reference to the U.S. Pre-Peace Treaty claims payments of $21.04 million, $9.1 million was paid to the GRI in FY 1967. The remaining valid claims should be disbursed for the most part by the end of this fiscal year.

This concludes the background presentations. We will be pleased to answer any questions.

Thirteenth Meeting of the U.S.-Japan Consultative Committee
January 11, 1968

Proposed Text of the Press Release

(English Translation)

1. The Thirteenth Meeting of the Consultative Committee on Okinawa was held on Thursday, January 11, 1968 at 3:00 p.m. at the Ministry of Foreign Affairs, Tokyo. Foreign Minister Takeo Miki and Director-General of the Prime Minister's Office Tatsuo Tanaka represented Japan and Ambassador U. Alexis Johnson represented the United States.

2. The Representatives at today's meeting agreed upon the Japanese Government's aid program for Okinawa to take effect April 1, 1968. The Japanese Government's aid to Okinawa which is contained in the program will be formally established when the contents of the program are incorporated into the budget plans of the Japanese Government and upon approval of the budget plans by the Diet.

3. The total amount of the agreed aid program is ¥15,377,176,000 ($42.7 million). The sum is expected to be disbursed during RFY 1969 (July 1, 1968-June 30, 1969). However, in view of the difference in the periods covered by the GOJ and GRI fiscal years, ¥11,282,669,000 ($31.3 million) of the total amount of Japanese aid is to be covered by the JFY budget of the Japanese Government and the remaining ¥4,094,507,000 ($11.4 million) is to be expended during JFY 1969.

The U.S. proposal for this program was provided to the Japanese Government in October 1967. After the Japanese counter-proposal was compiled, the program was examined and adjusted in detail during close informal consultations between the two Governments. The results of these consultations were forwarded to the Technical Committee which was convened on January 10 in Naha. The report of the Technical Committee was presented today to the Consultative Committee.

The details of the aid program are as set forth in the attached documents.

議長メモ記(案)

北米局長
参事官
北米課長

秘 まで

Chairman's memo on the proceedings
of the Thirteenth meeting of
the Japan-U.S. Consultative Committee
on Okinawa

January 11, 1968.

(Participants take seat)

(Cameramen are allowed to take pictures and retire on completion)

1. (Opening and adoption of the agenda)

"I should like to open the 13th meeting of the Consultative Committee on Okinawa."

~~(Interpreted)~~

"First of all, I should like to introduce Mr. Tanaka, Director General of the Prime Minister's Office, who succeeded Mr. Tsukahara and is going to participate in this Committee as a member from ~~the~~ this meeting. ~~On~~ Also, on this occasion, I should like to introduce Mr. Ohkawara, our new ~~counsellor~~ Deputy-Director of the North American Affairs Bureau.

I

I understand that Mr. Tanaka wishes to make a brief statement, ~~on this occasion~~. Director-General Tanaka please."

~~(Interpreted)~~

~~米側挨拶~~

総務長官

田中

I took the office of the Director-General of the Prime Minister's Office last November. Since the Diet went into session immediately after I took office I have had no opportunity to visit Okinawa. But, I should like to ~~visit Okinawa~~ do so at the earliest possible opportunity and to make efforts towards the solution of problems concerning these islands. [redacted] I wish to take this opportunity to request your cooperation in the days to come.

As you know, and as stated in the Joint Communique issued after the talks between Prime Minister Sato and President Johnson last November, the Prime Minister ~~Sato~~ expressed ~~to the President Johnson~~ the strong desire of the Government and people of Japan for the return of the administrative rights over the Ryukyu Islands to Japan and emphasized that an agreement should be reached between the two governments within a few years on a date satisfactory to them for the reversion of these islands.

The

The Prime Minister and the President ~~further~~ agreed that, with a view toward minimizing the stresses which will arise at such time as administrative rights are restored to Japan, measures should be taken to identify further the Ryukyuan people and their institutions with Japan proper and to promote the economic and social welfare of the Ryukyuan residents. To this end, they agreed to establish in Naha an advisory committee to the High Commissioner of the Ryukyu Islands. In view of these developments, I ~~am convinced~~ believe that cooperation between the United States and Japan concerning the problem of Okinawa has entered into a new and important stage.

Since this is the first year of ~~the~~ such a new stage of the co-operation between the United States and Japan, I wish to renew my determination to make my utmost efforts towards the solution of the problem of Okinawa.

It

It is my sincere ~~wish~~ hope that ~~the distinguished participants from the United States Government~~ all of you will extend understanding and cooperation to ~~the~~ efforts on my part.

Thank you very much.

"I

"I understand that Ambassador Johnson wishes to make a few remarks ~~at this stage~~. Ambassador Johnson, please."

~~(Interpreted)~~

~~(A Statement of the Ambassador Johnson, the introduction of U.S. participants)~~

~~(Interpreted)~~

"Thank you very much, Ambassador Johnson. As Chairman of this Committee and also on behalf of the Japanese participants to the Committee, I should like to ~~express my heart-felt~~ welcome ~~to~~ Mr. Seip, and Mr. Burns and Mr. Tatekawa who have participated in this meeting from Okinawa.

~~(Interpreted)~~

"Now, I should like to consult with you on the agenda for today's meeting. Is their any objection ~~to~~ adopting the draft agenda which has been distributed to you?

~~(Interpreted)~~

(U.S.

(U.S. side ~~with~~ will say that it has no objection)

~~(Interpreted)~~

"As there is no objection, I declare that the agenda has been adopted."

~~(Interpreted)~~

2. (Agenda Item No.1 the list of projects submitted by the Technical Committee concerning the Japanese Governments Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1968 (including certain amounts to be financed in the first three months of JFY 1969)

"The Committee now proceeds to the first item on the agenda, the List of Projects submitted by the Technical Committee concerning Japanese Government's Assistance Program to Okinawa for JFY 1968. (including certain amounts to be financed in the three months of JFY 1969.) First of

all

all, I should like to give a brief explanation on how ~~the preliminary works which took place to compile~~ this List of Projects was compiled.

~~This time, the~~ The United States proposal for the Japanese Government's Assistance Program was presented to the Japanese Government last October. After the completion of the counter-proposal of the Government of Japan, examination in detail and adjustments have been made through the close cooperation in the informal consultations between the administrative ~~authorities~~ staffs of our two ~~countries~~ governments. The result of the informal consultations was refered to the Technical Committee which was convened in Naha yesterday, and after close examination in the Technical Committee the List of Projects was ~~finally~~ decided to be submitted to this Committee today.

Now,

Now, I should like to request Mr. Burns to submit the List of Projects to the Consultative Committee on behalf of the Chairman of the Technical Committee.

~~(Interpreted)~~

(Comptroller Burns will hand the List of Projects to Foreign Minister Miki and Ambassador Johnson and make a brief explanation on it).

"Thank you very much, Mr. Burns. On behalf of the Japanese participants to the Committee, I should like to express my deep appreciation of the efforts made by the Technical Committee.

In

In the course of the informal consultations which took place before the Technical Committee there was close and smooth cooperation ~~has been made~~ between the administrative staffs ~~authorities~~ of our two governments ~~countries~~ in the ~~a~~ spirit of mutual understanding and trust, which our two countries maintain concerning the problem of Okinawa.

The informal talks ensured mutual understanding between the two governments on the Japanese Government's Assistance Program to Okinawa, so as to bring about a satisfactory agreement on it. In this regard, I should like to express my sincere appreciation of the efforts made by the officials concerned.

The Japanese side is prepared to adopt the List of Projects now submitted by the Technical Committee as the anticipated assistance program of the Japanese Government.

That

That is to say, the Japanese Government agrees to adopt the List of Projects as the Japanese Government's assistance program to Okinawa with the reservation that the Japanese Government needs to take internal ~~domestic~~ measures as provided for in paragraph 2(c) of the notes exchanged on April 25, 1964, before it is able to finalize specific assistance projects.

I wish to ask the U.S. side whether it agrees to this anticipated assistance program with the same understanding ~~which I just stated.~~

~~(Interpreted)~~

(Ambassador Johnson expresses agreement to it)

"Agreement is now reached on the anticipated assistance program of the Japanese Government which is to take effect on April 1, 1968.

The Japanese Government's assistance to Okinawa has shown an increase every year, and the assistance program

which

which was just agreed on between us also represents not only a marked increase over the program for the previous year but further improvement in quality. This fact is nothing but an expression of the deep ~~vast~~ interest of the Government and people of Japan in the Okinawan affairs.

In this regard, I should like to express my ~~deepest~~ appreciation of the efforts on the part of the U.S. Government which brought about the increase of the amount authorized by the Price Act. It is my hope ~~wish~~, however, that the amount authorized by the Act will be further increased in the future so as to strengthen the U.S. Government's assistance for the promotion of the welfare of the Okinawan residents.

It is most gratifying that a marked ~~great~~ advancement has been made ~~achieved~~ on the problem of Okinawa at ~~through~~ the talks

between

between Prime Minister Sato and President Johnson.

In connection with this Committee, it was reaffirmed by the two leaders, as a common objective of our two countries, ~~that~~ to take measures ~~should be taken~~ to identify further the Ryukyuan people and their institutions with Japan proper and to promote the economic and social welfare of the Ryukyuan residents. It is my ~~wish~~ hope that this Committee will, in close cooperation with such institutions as the Advisory Committee which will be shortly established in Naha, continue its active and fruitful activities toward ~~the~~ this common objective of our two countries in order to make preparations for the day when administrative rights over Okinawa ~~are~~ to be restored to Japan.

(Interpreted)

(interpreted)

(Ambassador Johnson will make remarks)

(interpreted)

佐藤 "Now, I should like to request Director-General Tanaka to make a few remarks. Director-General Tanaka please."

田中 "It is most gratifying and significant, that the Governments of Japan and the United States have reached an agreement at this meeting on the proposed Japanese Government's assistance to Okinawa for Japanese Fiscal Year JFY1968 which has been worked out through several informal consultations between the two Governments.

The main projects of this ~~assistance~~ program include various items which are urgently required and will be effective for the promotion of ~~the~~ welfare of the inhabitants and industrial development of Okinawa; ~~namely~~, these projects include, in addition to

the

the further improvements of continued projects in the fields of culture, education, social welfare, land development, industry and economy, the establishment of the Department of Health Sciences in the University of the Ryukyus, the construction of a new Naha Hospital ~~and~~, the construction of a new Naha Port, the expansion of civil air-terminal facilities of Naha Airport, the establishment of long-term loans for housing construction and industrial development, and the improvement of financial capabilities of Shi-Cho-Son. I believe that the promotion of these projects will make great contributions to the elimination of the economic and social barriers which still exist between Okinawa and Japan proper, and to the further identification of Okinawa with Japan proper.

On this occasion, I should like to express my sincere appreciation of the efforts on the part of the Government of the United States and the High Commissioner to expand the

autonomy

autonomy of the Ryukyu Government and to improve the welfare and well-being of the Okinawan residents and also ~~of~~ for their ~~deep~~ considerations toward the promotion of measures for the furtherance of identification of Okinawa with Japan proper, such as the utilization by Okinawan vessels of the coastal radio stations of Japan proper.

I believe, however, that as you ~~may know~~ notice from the deliberations in the course of the last session of the Diet, there remain various problems yet to be solved, such as the participation, in some form, of the representatives of the Okinawan residents in the ~~deliverations~~ activities of ~~our~~ the Diet, the popular election of the Chief Executive of the Ryukyu Government and the ~~securing~~ matters of the fundamental rights of the Okinawan residents. There also remain ~~many~~ problems to be solved in order to eliminate the differences between Okinawa and Japan proper in the fields of welfare and well-being of inhabitants and the standards of administration.

On

On the occasion of the establishment of the Advisory Committee to the High Commissioner, I ~~wish~~ hope strongly that ~~the~~ effective and fruitful activities of the Advisory Committee, together through with ~~the talks~~ consultations between our two ~~countries~~ governments through ~~the~~ diplomatic channels ~~which includes this~~ and the Consultative Committee, ~~will contribute to the~~ we will be able to undertake comprehensive and systematic review of the~~se~~ problems concerning the identification of Okinawa with Japan proper and ~~to the realization of steady~~ carry out steadily necessary measures for their solution."

(~~Foreign Minister~~ on Agenda No. ~~3~~ 2)

大臣

"Finally, I should like to consult with you on the Press Release. A draft press release was prepared at the administrative level and distributed to you. I should like to propose that this press release be distributed to the press and explanation be made in accordance with it. Do you have any objection to this?"

(Interpreted)